



# ふきのとう

## 第41号

【発行】  
 社会福祉法人  
 秋田県社会福祉事業団

〒010-1412  
 秋田市御所野下堤五丁目1番地の1  
 TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361  
 HP <http://www.fukinoto.or.jp>  
 e-mail [mail@fukinoto.or.jp](mailto:mail@fukinoto.or.jp)



～コロナー就労継続支援B型事業「ぱん工房」～

【目次】

P 6	P 5	P 4	P 3	P 2
・表彰	・令和五年度新規採用職員紹介	・令和四年度退職者	・令和四年度退職者	・コロナー就労継続支援B型事業のご紹介

★★★FACEBOOK 随時更新★★★

ホームページからも閲覧できます。  
 詳細は、コチラから↓




～コロナー就労継続支援B型事業「あぐり工房」～



# コロナー就労継続支援B型事業のご紹介

これまで、秋田県心身障害者コロナーの就労継続支援B型事業は「果樹科」「園芸科」「製パン科」「木工・窯業科」の四つの科で生産活動を行っていましたが、四月からは「あぐり工房」「ぱん工房」「あーる工房」としてスタートしました。

## あぐり工房

果樹科と園芸科を統合しました。様々な種類の果物と花の栽培・販売を行っています。果樹部門は梅から始まり、ブルーベリー、梨、りんご、季節ごとの果物を収穫し、園芸部門も季節ごとの花々を育て、コロナー内だけではなく、コロナー生産品直売所「歩人」や道の駅「にしめ」の直売所でも販売していますし、卒業式や入学式、町内会の花植え活動にも、ご利用いただけます。ガーデニングシーズンになりますと対応でお待ちする事がありますので、



お越しになる際は事前にご連絡をいただければと思います。

## ぱん工房

様々なパンを製造し、コロナー利用の皆さんの朝食を賄ったり、歩人や道の駅「にしめ」の直売所のほか、地域の即売会や様々なイベントにも参加させていただいており、たくさんの方連のお客様が楽しみにしてくれております。また新商品も発表していきますので、ぜひ、ご賞味ください。



## あーる工房

スノーボールの製作・販売と、基板事業（リサイクル）を行っています。スノーボールは、一般のご家庭には販売していない物ですが、冬期間、道路と歩道（側溝）

の境目の目印として重要な役割を果たしているもので、官公庁や道路事業・建設事業を行っている企業に販売しています。

基板事業は、不要になったパソコン等を引き受け、解体分別をしてリサイクルを行います。パソコンを取り扱うことで一番心配なことは情報漏洩です。当事業所では、記憶媒体（ハードディスク）に傷を付ける作業（物理的破壊）を行い、データが抜き出せない状態に致します。このような対応をすることで信頼をいただき、多くの官公庁や学校、企業等から依頼をいただいております。一般のご家庭からでも、使わなくなった・壊れてしまったパソコン等がありましたら、ご相談ください。



就労継続支援B型事業は、障がいのある方々に就労の機会や生産活動の機会を提供する事業で、商品の売り上げから光熱水費や材料費等を引いた分が工賃として支払われます。作業・販売技術や対人技術の習得だけでなく、社会参加しているということも利用者さんのモチベーションにつながっております。

# 令和4年度退職者

秋田県南部老人福祉総合エリア

管理者 小野崎 和司



就職したのがつい昨日のような気がして、本当に六十歳になったのかなあ…と、少し不思議な思いもあるのが正直なところ。福祉基礎構造改革や契約制度への移行、度重なる制度改革や資格制度による組織改編、IT化の急激な進行に伴う業務の多様化と複雑化、少子高齢化や過疎化に伴う地域環境・経営環境の変化等、思えば様々な変化の波の中で過ごしてきました。諸先輩をはじめ、皆様

の力なくして今日の日を迎えることは無かったと深く感謝しています。変化の波は、まだまだ続くでしょう。互いの考えを尊重し、互いの力を信じ、互いの存在を認め合い、これまでにない発想と工夫をもって、秋田県社会福祉事業団が歩み続けることを期待しています。ありがとうございました。

高清水園

主査 加賀谷 淳志



早いもので事業団に勤めてから三十六年がたつてしまいました。この間利用者の皆さんと職員の方々のおかげで楽しく仕事をさせていただきまし

た。採用された時ですが、福祉会館でコロナ採用の辞令を受けたものの、コロナがどこにあるか分からず、必死にコロナパスの後を追いかけていったことが思い出されます。

これまで仕事を続けてこられたのは利用者および職員の皆様のおかげです。ありがとうございました。最後になりますが、利用者皆様と職員皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



秋田県心身障害者コロナー

管理者 阿部 由美子



平成二年四月秋田県社会福祉事業団職員に採用となり、南部エリア養護老人ホームが最初の勤務先でした。自分よりかなり年上の利用者の方を呼んだ時、「私は君より年上だ。名前ではなく名字で呼ぶべきだ。」と指摘を受けました。確かにその通りだな、配慮が足りなかつたなと反省したことは、今でも忘れることのできない思い出の一つです。

そんな日から、三十三年が過ぎ定年退職を無事迎えることができました。これまで勤務した施設を振り返ると、どの勤務先でも充実した日々を過ごすことができました。それも利用者皆さんの笑顔と、職員の皆さんのご協力があったからこそと感謝しております。本当にありがとうございます。

秋田県心身障害者コロナー

上席看護師 大場 祐子



平成七年にコロナーへ採用になり、この度無事に定年退職を迎えることが出来ました。平成二年から採用までの間は、コロナーの職員宿舎に住み専業主婦として子育てしました。利用者の皆様もまだ若く、散歩中に声をかけ、手を差し伸べて下さいました。今ではその方達の看取りの時期に入り年月の早さを感じます。

ここで看取りが出来ているのも「衣食住」すべての職員のサポートがあるからこそで、何か一つが欠けても成立しません。職員一人一人が、立場や年令に関係なく、もっと自分を誉めてあげてほしいと思います。皆様の支えで本日を迎える事が出来ました。本当にありがとうございました。



# 令和4年度退職者

やまばと園

主任 武藤 功幸



阿桜園で契約職員として七年やまばと園で正職員として三年働かせていただきました。たくさんご利用者と関わり、時には辛いと思うようなこともあり、時には利用者さんの笑顔で癒される時もありました。毎日が忙しくあつという間の十年でした。支援をする時はこれで良いのか自問自答しながらの日々でした。一旦は退職をしますが、これからも再雇用と言う形で事業団にお世話になります。今後も利用者さんが楽しく笑顔で過ごせるお手伝いが出ればと思っております。最後にもう応援をしてくれた上司や仲間には感謝の気持ちでいっぱいです。今後とも宜しくお願い致します。

障害者支援センター御所野

主査 宮野 誠司



南部エリアに入り、水泳指導や管理、様々な行事の企画・運営をして、最終的には御所野で障害者支援をしました。厳しくも楽しく指導や支援をすることを続け、早三十四年余りとなりました。事務職の方がやや長いものの、支援では様々なタイプの利用者として接し、辛かった事もありましたが、楽しい思い出も作れました。何が正解かわからない事もあります。が、信頼できる上司・同僚・仲間がいれば、前に進めると思えます。様々な人がいる中、それら同志と呼べる人を作ることが、長く続けられるコツかもしれません。今後の皆さんの活躍を願っております。



障害者支援センター御所野

主査 伊藤 直寿



私が社会人になった時代は日本経済も活況を呈し、その繁栄を享受できた世代です。東京の会社に職を得た私は幸先の良い始まりに幸運を実感したのですが、三十歳を前に故郷秋田に戻ることとなり、当事業団に就職しました。その頃から経済の減速が顕著となり、若かりし頃のベルエポックの宵の夢も何処かに消え去りました。社会経験を活かしてお役に立てた事もあったかと思いますが、慣れず得手としない仕事に不安も募り心折れそうになる事が幾度もありました。そんな不器用な私がどうか今まで職を続ける事ができたのも、諸先輩方や同僚の皆様は暖かく親身に接していただいたおかげによるものが大きく深く感謝申し上げます。

長い間お世話になり、ありがとうございます。

秋田県点字図書館

館長 高橋 浩文



この度三月三十一日を持って定年退職することとなりました。

平成元年に入職して以来三十四年の間、障がい、老人と色々な福祉の分野を経験させていただきました。

思い返せば、利用者さん、職場の仲間たちはもちろん、転勤し色々な土地で出会った皆さんからのご指導・ご鞭撻があったから無事この日を迎えられたと思います。皆さんに感謝申し上げます。

これからの人生で、何らかの形で少しでもお返しできればと考えております。

最後になりますが、社会福祉事業団の益々の繁栄とそこに勤務する職員のご活躍を祈っております。

お世話になりました。ありがとうございました

令和五年度新規採用職員紹介

高清水園 支援課

支援員 與齊 美紀



私は、利用者の方々がその人らしく生活できるように

支援していきたいです。具体的な内容としては、できることは可能な範囲の中で利用者の方に取り組むことを促し、たとえ時間がかかったとしても見守り、QOLを損なうことがないよう心がけたいです。

秋田県心身障害者センター 創生支援課

支援員 根本 優介



利用者とのコミュニケーションを大切にし、多くの

方から信頼・必要とされる支援員を目指します。そして支援の現場では常に学ぶ姿勢と笑顔を大切にしながら業務にあたりたいと思います。よろしくお願ひします。

秋田県心身障害者センター 赤光支援課

支援員 高橋 力



横手市よりこの度、西目のセンターへ採用になりました。

一日でも早く利用者さんの顔と名前を覚えより良い関係を築けたらいいなと思っています。また、見本となる職員を目指しチームワークで支援に取り組みます。

秋田県心身障害者センター 白光支援課

支援員 佐藤 光治



四月より採用となりました佐藤光治と申します。学

生時代は社会福祉について学んでおりました。利用者の皆様へ寄り添い、一人ひとりに合ったサービスを提議できる職員になるよう努めて参ります。よろしくお願ひ致します。

秋田県心身障害者センター 白光支援課

支援員 佐藤 優衣



利用者の方々が充実した生活を送ることができ

ようにお互いの信頼関係を築いていけるように努めています。また、介護福祉士の資格を取得するために様々なことに挑戦して、たくさんの方の経験を積みたいたいです。

秋田県心身障害者センター 診療所

看護師 佐藤 啓子



障害福祉施設は初めてですが、利用者様が健康で安

全な生活が送れるように看護師としての関わりを学習し、看護師である身体と心に寄り添う看護を目標にたくさんの方の事を吸収し頑張りたいと思います。

秋田県心身障害者センター 診療所

看護師 佐々木 尚子



利用者の方々は、様々な障害を抱えていると思いますが、障害があっても安心して生活が送れるように看護師として

利用者の方々から学びながら、支援できればと思っています。また、スキルアップできるように勉強して、資格を取得することも頑張りたいと思います。

阿桜園 支援課

支援員 高橋 賢一



この度採用となりました、高橋賢一と申します。

ご利用者の皆様一人ひとりに寄り添い「心の声」を聴き取れるよう日々精進して支援に努めてまいります。どうぞよろしくお願ひ致します。

やまばと園 支援課

支援員 鈴木 孝喜



この度、事業団職員の一員になった事を嬉しく思う

と同時に職責の重さを感じています。利用者様の尊厳やその人らしさを大切にしながら支援を行い、職場の上司や先輩の指示を守りながら職務に当たりたいと思います。

障害者支援センター 御所野 支援課

支援員 佐々木 龍



この度、障害者支援センター御所野へ配属となりま

した、佐々木龍です。これから関わっていく方々とのご縁を大切に、日々の学びを深めて立派な支援員となれるように頑張ります。何卒、よろしくお願ひいたします。



# アパート型グループホーム開設

令和四年十月一日から南通宮田にアパート型グループホームあすかを開設しました。

このホームは、サテライト型住居を利用して四名の方々が一人暮らしに近い形態で地域生活を続けるため、ワンルームのアパートを活用しました。四名の方々が、職場に通勤しやすいよう公共交通機関が近くにあることやスーパー、コンビニエンスストア等が周辺にある暮らしやすい環境を考えながら、職員と一緒にアパートを内覧し探しました。

さらにこのホームでは、土日祝祭日を除いた平日の朝・夕に調理済み品を湯煎や解凍をして食事提供しています。栄養バランスを考慮しながら調理時間を確保することができ、入居者との時間にもつながっています。当初、入居者が美味しいと言って食べてくれるのか、調理を苦手とする職員でも本当に作業できるのか不安でした。

開設から四か月が経ち、この食事は入居者からも職員からも好評です。

入居者の皆さんの生活には様々な工夫と調整が必要となります。職場定着や一人暮らしが目指せるよう支援に力を入れ、それぞれが望む暮らしの実現に向けて邁進したいと思います。



## ★表彰★

○厚生労働大臣表彰

(社会福祉功労)

秋田県南部老人福祉総合エリア

管理者 小野崎 和 司

○全国社会福祉協議会会長表彰

永年勤続者表彰

(法人・施設功労)

秋田県南部老人福祉総合エリア

管理者 小野崎 和 司

秋田県心身障害者コロニー

管理者 阿 部 由美子

(永年勤続功労)

秋田県点字図書館

館長 高橋 浩 文

受賞おめでとうございます。

